

居合道だより

令和 7年 4月

第225号





はじめに

北九州居合道同好会 副会長 横田 靖子

この度は、第49回全国各流居合道北九州大会開催にあたり、県内の皆様
に多大なるご支援・ご協力を頂き誠にありがとうございました。

大会直前には名残りの雪が降り、また本番中、予期せぬ事態もありましたが
皆様の熱意と機転で乗り越え、無事に終えることができました。

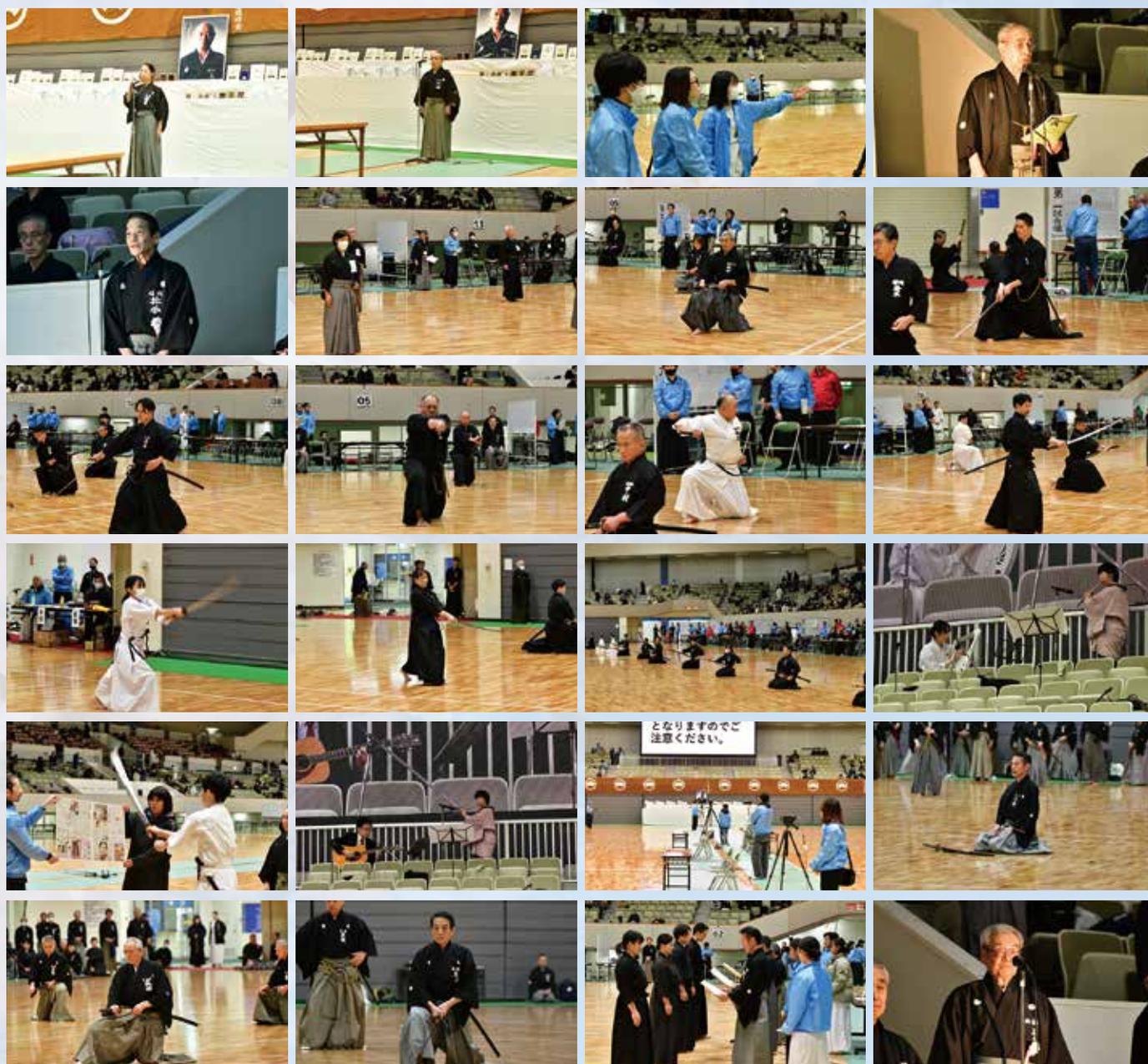
また今年から七段戦も復活し、幅広い世代の方々による熱い戦いが繰り広げ
られ、盛会に終わりました。

昼休みの「グリーンベル」と当会の「詩音」さんの音楽や、学生向けの
新聞紙を使った試し切りなどの新しい試みもあり、スタッフも右へ左へと走

り回り、未来へ踏み出す大会ができたと自負しております。

来年の大会は50回の節目となります。半世紀続くこの大会を後世に残す為
に、どうか今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます

一部ではございますが、大会の様相を掲載させていただきました。



居合道段位審査会

3月2日 福岡市総合体育館において審査会が開催されました。



地域稽古会(飯塚)





居合道六段昇段に際して

重信流滴水塾 上月 芳樹

此度 令和7年3月2日に京都市武道センターで開催された居合道六段審査会において、合格の結果を頂くことができました。これも偏に日頃より御指導頂いております 塚 彪・川路俊博 両先生をはじめ当流一門の方々、また講習会等で御指導・御助言を賜りました福岡県剣道連盟居合道部の先生方並びに剣友の皆様による御支援のお蔭であり、衷心より厚く御礼申し上げます。

居合道五段に昇段し満5年を迎えた昨年、3月の京都審査会は腰椎椎間板ヘルニアの症状悪化により申込を断念。6月の久留米審査会を受審するも指定業で思わぬ失態を起し、結果は不合格に終わりました。この事は初の経験で、その後稽古に集中できない日々が続きましたが、9月の伝達講習会の際に居合道部会長の井手範士より「この前の久留米の審査、業自体は良かった。あとは落ち着いてやること…それだけです」との感想を頂き、今回の京都審査会に照準を定め本格的に稽古を再開。伝達講習会での内容の他、以前の講習会や全日本居合道大会強化稽古等で指摘を頂いた点を再確認することから準備を進めました。審査の1ヶ月前に迫った今年2月からは、過去の指定業を参考に組み合わせた6本の業を時間計測しながら順次演武する形で稽古を続け、1週間前には着装・刀礼・帯刀や脱刀の方法・下げ緒の扱い方等を再度確認し、最後の仕上げを行いました。

当日は予め道着に慣れておく為に宿泊先で着替えを済ませ、地下鉄と徒歩で移動し会場に到着。受付を無事に終えた後、最終第3組・1回目である本番までの間、2階席から審査の様子を見守りながら「1・3・5・7・8・11」と指定業を心の中で何度唱えたことか…。演武中は次の指定業の確認を意識したこと以外にはっきりした記憶はありませんが、退場後は最前列の控席に着座し前を見据えながら「礼法も演武時間も多分大丈夫だろう。多少の力みや体のぶれがあったかもしれないが、できる限りのことはやり切った…後はどう判定されようと悔いはない」という心境で結果の発表を待ちました。

間もなく合格者番号が掲示され、「11-C」の受審番号を確認。背水の思いで今回の審査会に臨んだだけにその瞬間から全身の疲労が溢れ出し、腰と両脚に異様な重さを感じながら2階への階段を上ったことを思い出します。

平成12年3月より兵庫県伊丹市で居合を始め、その後大阪の武道具店で偶然目にした剣道雑誌等の記事をきっかけに夢想神傳重信流に傾倒、平成16年5月に起請文を提出し一門に加えて頂き、あれから20年余…途中病気等による休止期間もありましたが、郷里へ戻った後も今日まで何とか続けさせて頂いております。今後は高段者として恥じぬよう更なる修練を重ね、斯道発展の為に微力ながら尽くして参りたく存じます。

4月の予定

4月 13日(日) 福岡県武道祭

福剣連

福岡武道館

(5月の予定はまだ出てきておりませんので分かり次第サイトの方で発表します)

私事ですが、病氣療養中だった父徳永充昭(居合道教士七段・杖道練士六段)が3月14日に亡くなりました。孫の小学校卒業式を見届けてからの旅立ちでした。

父は北九州居合道同好会での指導を熱心に行い、常に会員や同好会の事を気に掛けておりました。県内行事にも積極的に参加して、沢山の剣友に恵まれました。この場を借りまして、生前賜りましたご厚誼と、ご厚情に心より感謝申し上げます。

北九州居合道同好会 副会長 横田 靖子

編集後記

さて春爛漫で桜に花冷え、花粉に黄砂と良くも悪くも春ですね～

全国各流居合道北九州大会の序盤で少年の試合がありました。2名福岡の選手で、片方は前大会での優勝者!もう片方は追いつけ追い越せと稽古を重ねた少年、もう1人は山口県の女子選手。最初前方2人に注目していましたが、「おお～いい勝負やん～」と見ていたが位置が悪く真ん中後ろの少女が見えなかったので覗いてみると、なんともなんとも素晴らしい演武してるじゃないですか!とても「級」の選手とは思えない!世間にはいるんだね、こういう素晴らしい選手が～!



なんと、福岡の強者も退けて見事優勝しました。これ見られておられましたら、是非寄稿して欲しいぐらいです。^^;

大会の後「君が代いきなりだからイントロつけてくれ」とお叱りを受けたのですが、今までは会場のを借りていました。(どうせならもっと早く言って欲しかった)

来年は自分で作っていきますね。(備忘録・1分ほどイントロつけようか・・・)

3月京都に於いて六段2名、七段1名が合格されました。おめでとうございます。今回2名原稿が間に合いませんでしたが、次号で掲載予定でございます。

サイトの方も只今変更中で、近日中に公開予定です。お楽しみに!

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第225号 令和7年4月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW